

# 日中政経議員連盟の活動報告

埼玉県姉妹省

## 「山西省視察訪問」を終えて

本年9月18日～21日、我が県の姉妹省であります山西省・太原に日中政治経済推進議員連盟（以下、議連）で総勢12名の視察団を結成し、訪問して参りました。議連の名称通り、私達の最終目的は山西省との交流の中で、本県の政治経済を進展させていくことにあります。

人、人、人・・・何処にいても人の多さとその莫大なエネルギーを感じさせられ、国家遺産を視察するたび、計り知れない建築・設計技術や、気が遠くなるような歴史に圧倒されます。更にはその国土に見え、あるいは未だ眠っているであろう資源の豊富さは、想像を超えるものがあります。

まさに山西省は中国一の資源を抱え、最も古い歴史を有する省であります。

その山西省に団員12名、大きな期待を抱き、本県の企業、特に中小企業にとってプラスとなるような関係を構築できないか？ いろいろな分野における技術の輸出、そして山西省の企業の県内誘致等はどうか？ などが視察のテーマであります。今回の訪問の最大テーマは、昨年の訪問に引続き「人的交流の前進」でありました。

まず最初に、埼玉県からの留学生を受け容れていただいている山西大学を訪問し、郭貴春学長以下大学幹部、日本語を学んでいる中国人大学生約30人及び埼玉からの留学生も交え、さまざまな意見交換を行いました。

その中で、鈴木聖二副団長が6月議会の一般質問で留学生の受け容れについて質問し、上田知事から県立大学での受け容れ可能という大きな土産（成果）を報告できたのは、何よりもありがたいことでした。学生達の大喜びの顔が忘れられません。

次に、胡蘇平副省長を始め山西省政府要人の皆様と会いました。

胡氏は、今後も引き続き教育・文化・衛生・科学技術等の分野で関係強化していきたい旨の発言をし、私（団長）としては、長年の交流の中で懸案の経済交流を進めたいと申し上げました。この件については来年以降、両県省の最大の課題とし、相互企業の交流関係の基礎を築き上げていきたいと考えております。

そして胡氏に、上田知事の親書を手渡させていただきました。

次に、楊安和省人民代表大会常務副主任、朱明秘書長始め議会にあたる常務委の要人と意見交換をいたしました。

山西省側からは、中国の政治形態は民主集中制である旨、それに対し、我が訪問団は日本の地方議会の二元代表制について説明いたしました。

異なった議会政治の在り方を考えさせられた次第です。



出発前知事と視察内容について報告



山西大学で日本語を勉強している学生と視察団との意見交換会にて



胡蘇平山西省副省長(副知事)と



山西省人民代表大会(県議会)常任委員会幹部と

平成20年10月10日

団長 奥ノ木信夫